

12版 長野2

地域 △ 30

森林再生NPOを助成

JT長和のスキー場跡地事業

スキー場跡地などの森林再生に取り組む伊那市のNPO法人「森のライフスタイル研究所」(竹垣英信所長)が、花の咲く木を植樹する小諸市の同「こもろの杜」(清水克彦理事長)とともに、地域再生事業を支援する日本たばこ産業(JT)の今年度の助成対象に決まった。助成金の交付式は30日に長野市で行われる。

JTは1999年度から、地域の再生・活性化につながる事業を助成している。長野県を含むJT高崎支店管内では今年度261件の申請があり、県内からは両団体が選ばれた。受け

取る助成金は同研究所が150万円、こもろの杜が93万円。

同研究所は竹垣所長が2003年に設立し、05年にNPO法人化した。自治体や企業と共同で木質バイオマスエネルギーの普及や事業化に取り組んでいる。

今回助成対象となった事業は、長和町が昨年度から5か年計画で取り組む和田峠スキー場跡地の森林再生事業に協力するもの。6月

9日の町植樹祭などにカラマツの苗4000本を提供し、地元関係者らと植樹するほか、秋には地域住民と協力して下草刈りも行う計画だ。

竹垣所長は「廃止となり、荒れたままのスキー場跡地は少なくないので、森林再生のモデルケースとなってほしい」と語っている。